

端末持ち帰り開始にあたってのデジタル・シティズンシップ教育



【端末持ち帰りへの取り組み】

昨年度までの2年間は、今度珠美先生によるデジタル・シティズンシップのオンライン授業をZoomで鳥取とを繋いで実施しました。
今年度は、校内の教員たちで本格的な持ち帰りに向けて指導を行いました。



先生のコメント

学校だけの力で、生徒のより適切な端末活用の実現は非常に難しい。子どもたちがこれからの情報社会を生き抜くための知恵を磨き、デジタル市民として成長できるように、生徒と保護者の方で家庭内ルールを作成するなど、学校と家庭が同じ方向を向いて力を合わせていきたい。

①「学校だより」で持ち帰り・教育DXについてご案内

② 「デジタル・シティズンシップ」 1・2・3学年 総合的な学習の時間 授業 めあて：端末持ち帰りにあたって自分のメディアバランスを考える

1 身近に使っているメディアの名称や生活の習慣を挙げる

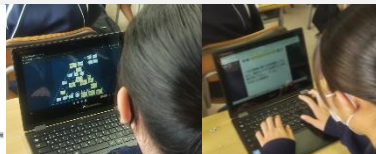
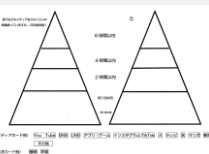
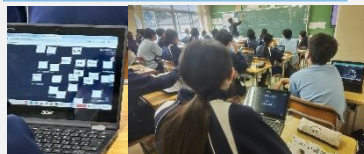
ロイロノートのアンケート機能や、カード作成を活用して使用例としてのアプリ名や睡眠などの生活習慣に関するワードを全体に共有

2 例を自分の生活リズムに合わせてワードを配置

ピラミッドチャートを活用して、一日の中での時間の使い方をそれぞれが作成

3 共有および、振り返り

各生徒の時間の使い方を共有し、先生による講評、生徒による感想の記載



《持ち帰り実施までの流れ》

③ 「持ち帰りについて」 1・2・3学年 総合的な学習の時間 授業 めあて：端末持ち帰り実施上の留意事項等を学ぶ

朝学活

○資料配布

- ・Chromebook端末持ち帰り実施とご家庭での利用について
- ・同意書 兼 誓約書
- ・資料1_ネット接続方法
- ・資料2_持ち帰りに関する問い合わせ先とFAQ
- ・情報モラルリーフレット(横浜市作成)

1時限

○各クラスにて、担任より持ち帰りについて説明

- ・自宅での使用を希望する者のみ、持ち帰りが可能になる
- ・持ち帰りを希望する場合、都度Formsでの申請が必要である

○全校に対し学校長・GIGA推進担当教諭からMeetで資料に基づき説明

- ・GIGA端末持ち帰りの目的、普遍的な注意事項の再周知
- ・配布資料の確認および読み合わせ

④「同意書 兼 誓約書」の回収

⑤「学校だより」にて「デジタル・シティズンシップ授業」の報告および、協力をお願い

⑥端末持ち帰り開始